

近藤 失敗…あるねえ。でも、それでも取ってチャレンジし続ける訳だけだ。

藤田 大体、僕はカッコいいものをやろうとしている訳じゃないしさ。

石淵 そうそう(笑)。大体、どうしたってこのメンバーで、カッコよさだけで押し切るのは難しいでしょ。

近藤 というか、そういうものに興味はないんじゃないかな。取って

“ハズシ”のおもしろさは、意識している部分もあるかもしれないけど。

石淵 個々の表現活動の場というより、“集団のバカ表現”だから(笑)。

小林 結局、もともとそういう素質を持っている人が集まっているってことだね。

近藤 ただ、知り合いに見せる公演じゃないから、それなりに“見せる”ということも意識していかなくちゃいけないとは思っている。

石淵 公演回数が増えたことで、ファーストインパクトだけじゃない、僕らにも見せる余裕も出てきたし。

近藤 それは、海外公演が増えたこともあるんじゃないかな。コンドルズを知らない、しかも言葉が通じない人たちを楽しませなきゃならない訳だし。最近は、藤田くんも見せ方がうまくなって…。

石淵 そうそう(笑)。最近、眼鏡がどんどん変わるんだよ。以前は曜日によって変えていたのが、最近は1か月毎日違う(笑)。

藤田 いやいや(笑)。

近藤 でもさ、メンバーで海外に行くと、自由時間には、みんなバラバラになってそれぞれ勝手に好きな所に行っ

ちゃうんだけど、皆怖がりだからちゃんと元の場所に戻って来るんだよね(笑)。そういうところって、昔からずっと変わらないし。そういう、なんやかんや

藤田善宏
Yoshihiro Fujita

中性的なダンスで圧倒的人気を独占。1996年の立ち上げからコンドルズ参戦。大好評のコンドルズTシャツのデザイナーとしても活躍。ゴミを漁って生計を立てていたのは、もはや過去。最近では振付家として06年のフジTV「かくし芸大会」や、矢井田瞳のPVなどの振付サポートもしている。

で仲悪いということも含めて仲がいいのがコンドルズなのかな、と。

勝山 みんな確かにバラバラではあるけれど、ここまで、たくさんの作品を作ってきたことで、その中でお互いにコンセンサスが自然にとれるようになってきているんじゃないかな。逆に、メンバー全員が同じ方向を向いていることの方が気持ち悪いね。

石淵 こうやって10年も活動が続いているのも、やる理由よりも、やらない理由が見つからないからって感じがする。

小林 結局、みんなおいしいビールが飲めればいいってことなんじゃない？

劇場とカンパニーがチームになって思い切った新しい作品を

小林 僕の中で、前回

の埼玉公演は、すごくダイナミックな作品に仕上がった

かと思っ

たんだよね。

京都に並んで、思い切ったこと

ができるのがこの場所なの。

藤田 ああ、あ

の公演はおもしろかったね。

石淵 埼玉って、いつも東京の春公演の後にやるじゃない。なんかね、ここでやるといろんな発見が多かったりする。それがすごく楽しい。

近藤 この彩の国さいたま芸術劇場は、僕たちのことを信じてくれている。劇場側がそう思って動いてくれていること自体、本当に貴重なだけに、ありがたいよね。

藤田 彩の国って、本来なら僕らにとってはまだまだハードルの高い劇場のはずなのだけれど、コンドルズにとっては敷居が低い場所って感じがする。

勝山 さいたま芸術劇場のプロデューサーさんっていったら、ダンスカンパニーにしてみたら怖れ多い存在なんです。それが、コンドルズメンバーと、結構フランクな関係になってきている訳。劇場と出演者というだけじゃない、人と人との繋がりが出来てきていることが、意外と重要なことだと思っているんだよね。

近藤 これだけ大きい劇場で、しかも東京と



距離が近いこの場所で、何ができる

のかを考える余裕が、僕らによりやく出てきた気がする。これまで埼玉では東京の春公演を再編集した作品をやっていたけれど、今回は、与野本町でやるってことを、思い切って考えてみようかと。

藤田 今回初めて、劇場の練習場で作らせてもらうのだけど、自然とこの劇場に合わせた作品になっていくんじゃないかな。

勝山 さいたま芸術劇場という場所とコンドルズが、ひとつのチームになって作り上げる、新しい作品になるのは間違いない。

藤田 いまはとにかく埼玉で楽しみたい、っていう気持ちが大きいね。



コンドルズ

男性のみ、舞台衣装は学ランのダンスカンパニー。NHK教育「サラリーマンNEO」の「サラリーマン体操」や「からだであそぼ」の「こんどうさんちのたいそう」でお茶の間にも大人気の近藤良平が主宰。メンバーの個性的なキャラクターと、ダンス、映像、アニメ、生演奏、人形劇、演劇を横断する変幻自在な舞台で、多くのコアなファンを獲得。海外でも絶賛。ロックバンド「THE CONDORS」としてメジャーデビューも果たし、日産自動車「NOTE」、カルピス「健茶王」TVCMタイアップも。ロック魂に買われたスリリングなダンスが圧巻。

◆◆◆ DANCE ◆◆◆

コンドルズ 埼玉スペシャル公演2008

『大いなる幻影』

【日時】5月17日(土) 開演 14:00 / 19:00

18日(日) 開演 16:00

【会場】彩の国さいたま芸術劇場 大ホール

【構成・映像・振付】近藤良平

【出演】青田潤一 石淵 聡 オクダサシ 勝山康晴 鎌倉道彦 古賀剛 小林顕作(映像出演) 田中たつろう 橋爪利博 藤田善宏 山本光二郎 近藤良平

【チケット(税込)】好評発売中

一般：前売4,000円 / 当日4,500円

メンバーズ：前売3,600円 / 当日4,050円

学生席：2,000円